

さかえちゃんハンカチ

子どもたちの見守り活動として、「さかえちゃん」というかわいいチューリップマークがシンボルの地域安全連絡会があります。様々な取組が毎年行われていますが、今年度は「さかえちゃん」を蛍光オレンジ色の布に印刷した「さかえちゃんハンカチ」を子どもたちに配布しました。子どもたちはランドセルにこのハンカチを付けて登下校しています。遠くから見てもとても目立つので、



ランドセルに付けています

地域や保護者の方は、すぐに栄小の子どもたちだと気づき、注意深く見守ってくださいしています。また、車のドライバーからも目立つので、交通安全にも一役買っています。

栄小学校

たてわり班活動で異学年交流

たてわり班活動では、全学年を15班に分け、1年生から6年生までが一緒に遊んだり、学期に1回一緒に給食を食べたりします。違う学年の子ども同士が仲良くなれて、子どもたちにも好評です。低学年が年上のお兄さんお姉さんたちに遊んでもらっている光景もよく見かけます。6年生は、他の学年の子どもたちが頼りにしてくれるので、最高学年として自信を持って委員会やクラブ活動でも活躍しています。



「宝探しゲーム」の様子



「だるまさんがころんだ」の様子

芝久保小学校

多様な読書活動で育む 言語能力

毎週木曜日の朝、読み聞かせサークルの方が繰り広げる本の世界に子どもたちは夢中です。本校の読書活動は、手を変え品を変え様々な角度から取り組んでいることが特徴です。一人で本に向かう朝読書、兄弟学年間の読み聞かせ（リーディングパディ）、お話の世界をたっぷり語り聞かせてもらうストーリーテリング、図書委員会による本の紹介集会、お気に入りの本を知らせ合う読書郵便。学校生活の一部として自然に本に親しみ、言語能力の向上のみならず子どもたちの世界観を多様に育む一助としたいと考えています。

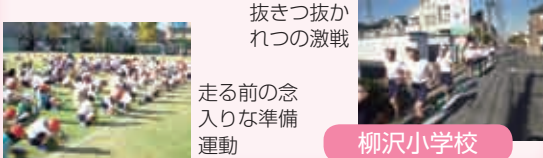


碧山小学校

熱戦!ドラマが生まれる マラソン大会

毎年12月は恒例のマラソン大会。芝生の校庭を走った後、校門から飛び出して校舎の周りを力走する児童たち。低・中・高学年で走る距離は違います。11月中旬から、中休みの終了5分前になると音楽に合わせて全校児童が校庭のトラックを走ります。「昨年より一つでも順位をあげよう。」と、朝や夕方に校舎の周りを自主的に走る子どもたくさんいます。当日は、保護者ボランティアの方が要所に立ち、安全確保と声援を送ってくださいました。地域の方も沿道で温かい応援をしてくださいました。

大会終了直後に、次の大会に向けて早速走り始めた子もいます。必死に走る児童の姿はキラキラ輝いています。自身の目標に向かって努力を続けることの素晴らしさを実感できる伝統行事です。



抜きつ抜かれつの激戦

走る前の念入りの準備運動

柳沢小学校

はじめまして 「東まなぶん」です

東小学校では、ペットボトルキャップを集める活動を行っています。90リットルの袋が年間で8～10袋集まり、それを地元のボランティア団体に回収、活用してもらっています。

本年度は、「東小学校開校40周年」のために児童が作成したキャラクター「東まなぶん」をペットボトルキャップアートとして作成しました。ペットボトルキャップ3,200個を使用し、アートクラブの児童が中心となり作りました。

現在、「東まなぶん」は昇降口で児童を出迎え、見送っています。東小の子どもたちは「まなぶん(通称)」が大好きです。



はじめまして「東まなぶん」です。

東小学校

運動の楽しさを体感し 意欲的に取り組む「体づくり運動」

本校では、平成25・26年度西東京市立学校教育研究奨励事業の研究指定を受け、上記表題の主題を設定し、2年間にわたる研究を進めました。

児童が意欲的に運動に取り組めるように、児童が運動の楽しさを心と体で体感し、歓声があがる授業を目指して研究実践を進めました。昨年10月には研究発表会を行い、250人近い方々にご来校いただきました。昨年度からご指導いただいている日本体育大学教授 白旗和也先生にご講演をいただき、本校の研究が「体づくり運動の授業づくりでは、日本一のレベルにある。」とのお言葉をいただくことができました。

これからも、本研究の成果である指導計画や手だてを生かし、児童が体感した運動の楽しさが生涯スポーツの礎となるような体育の授業づくりを継続していきます。



物語仕立てやゲーム性を取り入れた授業

谷戸第二小学校

地域ふれあい学習

本校では、毎年2月に、地域の方々の協力を得て、「地域ふれあい学習」を行っています。

今年度は、2月14日(土)に100人以上の地域の方々の協力のもと、1～3年生では、ぶんぶんごまや紙けん玉等を作って遊びました。また、4～6年生では、バドミントンや卓球等のスポーツ、将棋や手芸等の文化的な活動を行いました。子どもも大人も楽しいひとときとなりました。

まだ開校14年目のけやき小学校ですが、毎年の恒例行事となっています。これからも、地域の中の学校として、この行事を大事にしていきたいと思います。



地域の方々と一緒に割りばしでつぼうを作っている様子

けやき小学校

地域に育てられて

毎月第2土曜日、静かな校舎の中のランチルームからは、楽しそうな子どもたちの声が聞こえてきます。本校名物の「折り紙教室」です。

地域にお住まいの方が講師となり、昔から作り続けられている伝統的な折り紙はもちろん、キャラクターの折り紙や動物の折り紙、季節の行事に関わる折り紙などの創作折り紙の作り方を教えてもらっています。作品は校長室前に飾られ、来校された方々の目を楽しませています。

折り紙教室以外でも、様々な取組に多くの地域の方々に参画していただいていることが、本校の子どもたちの健やかな育ちにつながっています。



折り紙作りから、日本の伝統文化や季節感を味わいます。

本町小学校

上小の食育 「ランチルーム給食」

今年度の食育のテーマは、「感謝の気持ちをもとう。」です。栄養士がまとめたDVDを視聴しながら、朝6時から1,500食(田無一中の分も作っています。)を調理し、片付ける調理員の仕事について学習します。「じゃがいも全部の皮をむくの?すごい数だ。」「カレーのルーは買っているのかと思った(小麦粉から作ります)。」「1,500食?今日の食器は4,500枚だ。全部手で洗っているの?冬は水が冷たいね。」など、児童は様々な感想をもち、毎日の給食に感謝しながら、おいしい給食をいただきます。このDVDは1年生保護者対象の給食試食会でも好評でした。



上向台小学校